

(改造部門)
優秀賞

西天満倶楽部

(市浦都市開発建築コンサルタンツ有志)

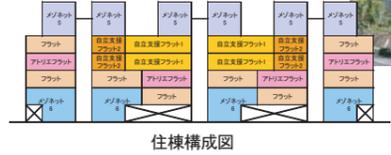
新築よりいいかも？



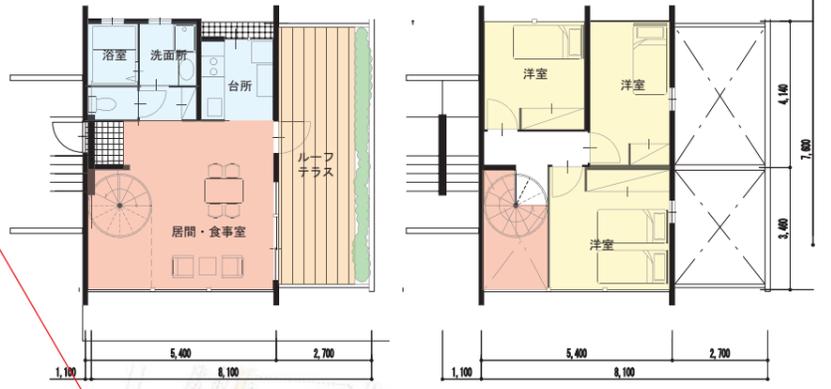
32号棟 イメージパース

32号棟の提案

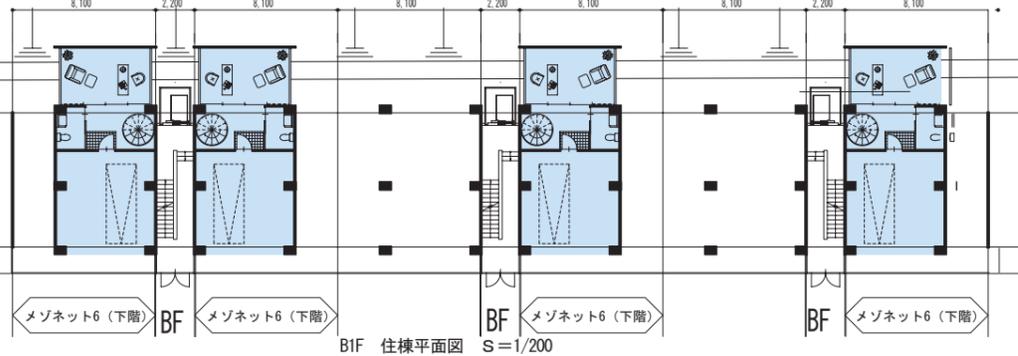
既存の住棟が持っているピロティ、周囲の高低差、ラメン構造のフレーム等長所を活かす計画とします。
突き出す—西側に突き出して規模を拡大する
取り込む—戸境壁を移動して隣接する住戸を取り込む
 —床を一部取り除いてメゾネット化する



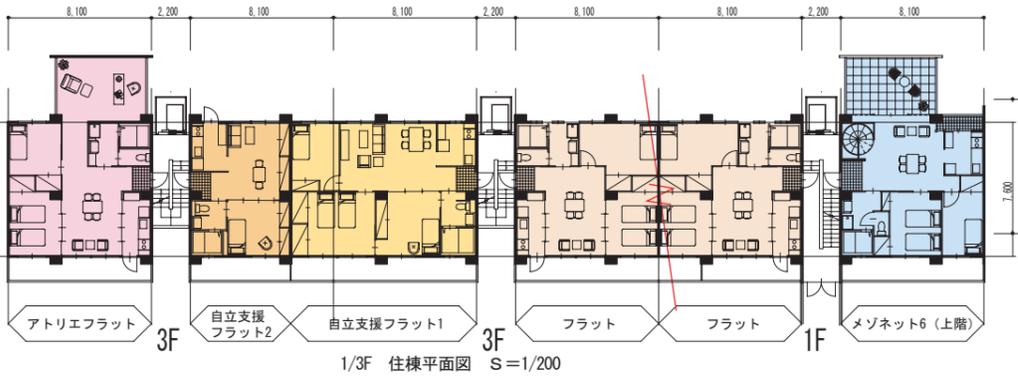
住棟構成図



メゾネット5 住戸平面図 S=1/100



メゾネット6 (下階) BIF 住棟平面図 S=1/200



1/3F 住棟平面図 S=1/200

事業費の目安

住宅タイプ	専有面積	負担額	
住戸内リニューアル	90㎡	約700万円	
2戸・3戸2化及びメゾネット化等による規模増と住戸内リニューアル	90㎡	約1,600万円	
増築による規模増と住戸内リニューアル(1階部分)	120㎡	約2,200万円	
増築による規模増と住戸内リニューアル(1階部分)	80㎡	約1,000万円	
リニューアル工事の種類	負担対象戸数	負担額	
エレベーター	階段室型	10戸	約100万円/戸
設置	廊下新設型	20~40戸	約120~200万円/戸



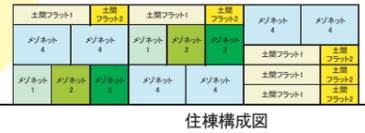
ハンゴコリドーで何が変わる？

33号棟の提案

ハンゴコリドーを使うと、従来の技術では変更することが困難な古い住宅の表情・アクセス・規模等が変わります。
表情が変わる—画一的だった表情を自由に変えることができます。
アクセスが変わる—階段によるウォークアップが、エレベーターと廊下によるバリアフリーアクセスに変わります。
規模が変わる—バルコニー側に規模を広げることが可能です。また、廊下側でも玄関の位置を自由に変更できることにより、住戸内部の変更が自由になります。



before



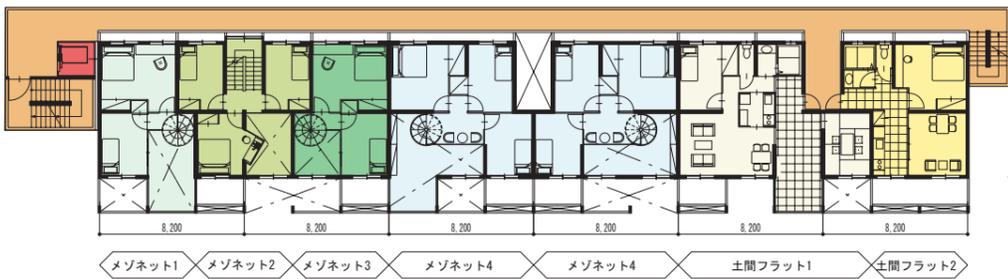
住棟構成図



33号棟 イメージパース



土間フラット 住戸平面図 S=1/100

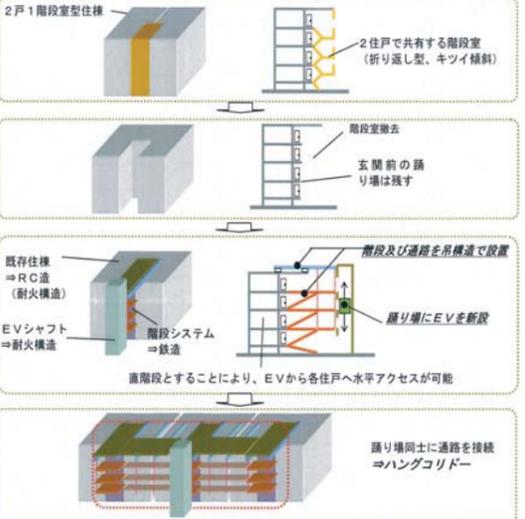


1階 住棟平面図 S=1/200

ハンゴコリドーの特徴・概要

ハンゴコリドーとは、戦後数多く計画的に大量に作られた5階建ての階段室型タイプの中層共同住宅(以下「住棟」という)ストックに対し、バリアフリー対策を行う等近年の社会的な機能要求を満たしつつ、画一的な住棟デザイン・団地景観を魅力ある団地環境に再生することができる改修システムです。

(ハンゴコリドーの概念図)



1階 住棟平面図 S=1/200